

(平成29年6月作成)

事務事業評価シート

(H.29)No.	1477	(H.28)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	先駆的空家対策モデル事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	営繕住宅室	鷲阪 文宣	

会計区分	事業コード	422801
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	先駆的空家対策モデル事業	
項 住宅費	(小事業名)	
目 住宅総務費	先駆的空家対策モデル事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	5	快適な生活環境づくり
	施 策	1	住宅・住環境
重点プロジェクト	2.若者定住促進プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
若年層の移住・定住を促進します。
事業内容
市内の15地域のうち、住宅地タイプ別に空き家等活用促進地域を指定し、地域・民間事業者等・市が協力して若年層の移住・定住促進につながる施策の検討・実施を行います。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	空き家等利活用促進地域候補地の選定 ＜既存住宅地＞名張地域 ＜住宅開発地＞桔梗が丘地域 ＜農村・山間集落＞赤目地域	空き家等利活用促進地域における若年層の移住・定住促進につながる施策の検討およびその一部の実施	空き家等利活用促進地域における若年層の移住・定住促進につながる施策の検討・実施	空き家等利活用促進地域における若年層の移住・定住促進につながる施策の検討・実施	空き家等利活用促進地域における若年層の移住・定住促進につながる施策の検討・実施

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		3,513千円		0千円	0千円	0千円	0千円
内訳(千円)							
国・県支出金		3,500					
地方債							
その他()							
一般財源	0	13	0	0	0	0	0
人工数							
職員		0.30人		0.90人	1.40人	1.40人	1.40人
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	2,250千円	0千円	6,750千円	10,500千円	10,500千円	10,500千円
①+②総事業費	0千円	5,763千円	0千円	6,750千円	10,500千円	10,500千円	10,500千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
市内の15地域の中から空き家等利活用促進地域を選定するにあたり、空き家実態調査結果を基に国勢調査等のビッグデータを活用して分析を行いました。その分析作業費用を国土交通省の補助事業を活用することにより一般財源を大幅に節約できました。名張市空家等対策推進協議会において、既存住宅地、住宅開発地、農村・山間集落の3つの住宅地タイプ別に候補地が選定され、促進地域の概要説明を行ったところ了承されたため、次年度以降の事業展開を図ることが可能となりました。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
候補地の承諾を得たことから、空き家等利活用促進地域に指定します。指定後に、地域・民間事業者等と市が協力して若年層の移住・定住促進につながる施策の検討を行い、実施できるものから順次実施していきます。	名張市空家等対策計画